

## Topic 1

## ◇ 1 学期定期テストの成果

## 喜びの声

俊英館でがんばって勉強して、成果を出している人たちの声を集めました。実際に成果を出している人の工夫や勉強法がどんなものなのか、ぜひ参考に見てみてください。

### 原口 彩香さん

- 英語表現 86点, 英語C 81点, 数学II 80点
- 受講講座 BasicWeb 数学, 英文読解 G 他
- 学校名: 県立熊谷女子高校 2年 ■校舎名: 熊谷籠原校



- 定期テスト勉強で工夫しているところは? 英語の音読をたくさんしました。1度学校で習っているのに、音読のスピードで日本語訳が頭に浮かんでくるようになるまで繰り返しました。何度も音読したので、穴埋め問題や並べ替え問題も苦労することなく解くことができました。
- 後輩へのアドバイス 学校の授業、塾の授業の復習をその日のうちにすることを心がけています。どんなに時間がなくても、その日に何を勉強したかを思い出すことで習ったことが忘れにくくなるので、テスト前にも覚えていることが多いです。

### 内田 聖也くん

- 物理基礎 95点(クラス2位), 化学基礎 94点(クラス2位), 数学II 87点(クラス1位), 数学B 74点(クラス2位)
- 受講講座 BasicWeb 理科, センター攻略数I A 他
- 学校名: 県立松山高校 2年 ■校舎名: 小川中央校



- 定期テスト勉強で工夫しているところは? テスト2週間前から毎日塾へ行きました。バスや電車の中でもちょっとした時間を勉強に利用しています。WEB授業を見たことで、今までよりも効率よく復習することが出来ました。WEB授業で見た教科でクラス1位や2位を取れたのでうれしいです!
- 後輩へのアドバイス 学校のワークをテスト前日に解きなおしできるように事前に全範囲やっておく。教科書の問題も出来るようにしておけば基礎は大丈夫だと思います。

その他、大勢の生徒さんからコメントをもらいました! ①定期テスト勉強の工夫 ②後輩へのアドバイス

■県立小川高校3年 山田 千裕さん(東松山校) 現代文99点, 古文92点, 英語84点, 日本史84点

①書くこと。書かないで見ているだけでは覚えられないと感じました。

春の講習のWEB授業の現代文で教わった「背景知識の攻略」がとても役に立っています!

②早く受験大学を決めると良いです。2年の2学期の期末テストは最悪でしたが、受験大学を決めて臨んだ2年3学期の期末テストでは、全科目20点以上伸びました!

■県立秩父高校2年 松澤 弘明くん(秩父中央校) 英語II(文法)98点(クラス1位)

①定期テスト週間の土日は、12時~18時までは図書館で、18時30分~21時までは塾で勉強をしました。

②定期テストは模擬テストなどに比べて範囲が狭く、難問が出題されません。数学なら公式をしっかりと使えるように問題集を繰り返し、社会だったら重要語句を覚えるだけでも点数は伸びます。テスト範囲を終わらせる勉強時間を確保するのがポイントです。

■県立熊谷西高校1年 能戸 はなさん(行田中央校) 世界史88点, 化学基礎84点, 英語表現80点

①集中力が続かないことに悩んでいましたが、1つ何か終わったらおやつを食べたり、合間にごほうびになることを決めたりしてやると、1つ1つ集中できてよいということに気づきました!!

②高校のテストでは授業中に先生が口頭で言ったことが案外よく出ます。ノートは板書を写すだけではなく、メモをとることがすごく大事です☆

**1 センター試験 1月17・18日に実施**

大学入試センターは6月4日、2015年度のセンター試験を1月17・18日に実施すると発表。出願期間は9月29日～10月9日。受験案内は9月1日から配布。理科・数学は新課程対応の問題となるが、経過措置として、来年に限り既卒生は新旧過程のいずれかを選択できる。また、新旧の平均点差が20点以上の場合には得点調整も実施する。

**2 立教大 2016年度より「4学期制」を本格導入**

立教大学は5月28日、4学期制を2015年度入試から一部の学部で試験導入し、2016年度からは全学部を導入することを決定した。4学期制は、国際化を推進するための環境整備の柱となる。すでに東京大学が15年度からの全面移行を決め、早稲田大・慶應義塾大・お茶の水女子大なども導入している。この制度には、在学生の海外留学を後押しし、一方で学期制の異なる海外からも留学生や教員を受け入れやすくするなどのメリットがある。

**3 中央大 中高生を対象としたサイエンスセミナーを開催**

中央大学は8月21日、中高生対象のサイエンスセミナーを開催する。このセミナーでは、大型の水槽を利用した実験や3Dプリンター、電子ビームなど、普段なかなか見ることや触れることのできない実験施設や実験装置を利用して、最先端のサイエンスやテクノロジーを体験することができる。また、実験教室だけではなく学食体験やTeaPartyも実施し、研究の第一線で活躍する教授と話す機会も用意されている。

**4 早稲田大 「めざせ！都の西北奨学金」募集要項を発表**

早稲田大学は、遠隔地域の高校出身者で、学業成績が優秀であるにもかかわらず家計の事情により進学を断念せざるを得ない受験生を対象とした、「めざせ！都の西北奨学金」の募集要項を発表した。この奨学金は、入学試験の出願前、または出願期間中に奨学金を申し込んでもらい、書類選考により奨学金採用候補者として認定された場合、入学前に入学後の奨学金を予約採用する制度である。

**5 TEAP 東京会場は予想の2倍の申込み**

TEAP（アカデミック英語能力判定試験）の第1回の申し込みが7月1日に締切られ、全国の総申込者数は、7会場で約3,000名に。東京会場は早い段階で満席となり、会場の追加と増席で予想の2倍のキャパになった。2015年度入試では、TEAP利用型入試を上智大が、また一部採用を立教大・関西大がすでに決定している。上智大は、従来型入試とTEAP利用型入試を用意し、TEAP利用型入試の場合、基準スコアをクリアしていればエントリーでき、入試では英語以外の学科試験が課される。TEAPの難易度の目安は「英検準2級～準1級程度」とあり、また年に3回受験できることから、受験生にとっては機会拡大となり、これからの大学入試の新しいモデルとなるとも言われている。



# ◇ 大学入試を基礎から知る

## 第4回 <私立大の一般入試の仕組みは？>

### “各大学が独自に入試日程、選抜方法を設定”

私立大学の一般入試は、国公立大学のような統一した日程は設定されていない。各大学が自由に日程、選抜方法を設定している。また、国公立大学と異なり、試験日が重ならなければ何校でも受験できるのも私立大学入試の特徴である。

### “バラエティーに富む入試日程”

統一した入試日程はないとはいえ、2月上旬頃には受験校の試験日が重なってしまうこともよくあります。このため、多くの大学が設定しているのが「試験日自由選択制」である。これは試験日を2日以上設定しておいて、受験生が都合のよい日を選んで受験できる制度である。さらに、全学部・学科が同一の問題を使って同じ日に試験を行うことで、複数学部・学科の受験が可能となる「全学部統一入試」も多くの有名大学で実施されている。また、受験しやすいように試験会場をキャンパス以外に全国の主要都市に設ける大学もある。

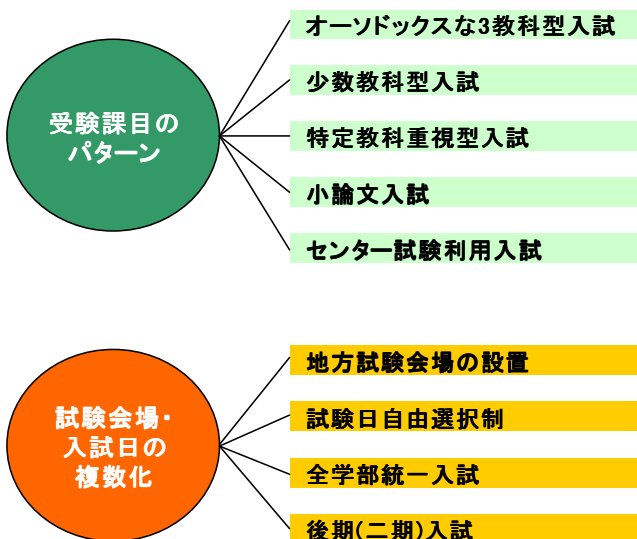
### “3教科受験が一般的”

入試教科数は3教科が主流。文系学部では英語、国語のほか地歴・公民か数学から1科目選択、理系学部では英語、数学、理科というパターンが一般的である。配点は大学・学部・学科によってさまざま、全科目同じ配点の場合もあれば、特定科目の配点を高くしている場合もある。

### “選抜方法も多種多様”

主流は「3教科型入試」であるが、中には2教科や1教科で受験できる「少数教科型入試」もある。受験生にとって負担は減るが、その分、志願者が集中し、高倍率になりやすい。また、特定の教科の配点を高くして合計点を算出する「特定教科重視型入試」、学科試験を課さずに論述試験で選抜する「小論文入試」、センター試験の結果で判定する「センター試験利用入試」など様々な入試方法が採用されている。

### スケジュール



	一般入試	センター試験利用入試
～11月		センター試験出願 10月上旬～中旬
12月	出願 12月中旬～3月下旬	事前出願 12月上旬～1月16日
1月		センター試験 1月17日・18日
2月	試験 1月下旬～3月下旬	事後出願 1月19日～3月下旬
3月	合格発表 ↓ 入学手続 2月上旬～3月下旬	試験 1月下旬～3月下旬 合格発表～入学手続 2月上旬～3月下旬